

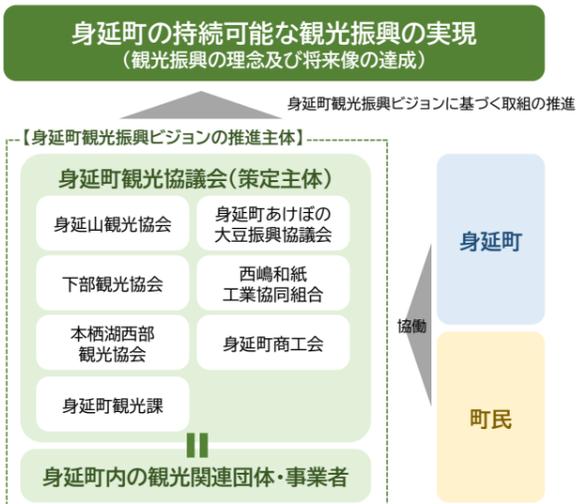
## ◆身延町観光振興ビジョン策定の背景

身延町では、平成28年に「身延町観光振興ビジョン(計画期間:平成28年度～令和2年度)」を改定し、町民、観光関連団体・事業者、行政等が一体となり、「オール身延」で観光立町を目指す取組が推進されてきた。

新型コロナウイルス感染症の流行や中部横断自動車道(南部区間)の全線開通等、社会情勢の変化を受けて、観光を取り巻く状況も大きく変化する中、今後も身延町における観光施策を総合的かつ計画的に推進するため、身延町観光協議会が主体となり、新たな「身延町観光振興ビジョン」を策定する。

## ◆身延町観光振興ビジョンの位置づけ

本ビジョンは、身延町の持続的な観光振興を実現するため、身延町観光協議会及び観光関連団体・事業者が主体となつて地域特性を活かした観光まちづくりを推進するための指針となるものである。身延町観光協議会及び観光関連団体・事業者は、適宜身延町と連携を図りつつ、本ビジョンに基づき着実な観光振興の取組の実施に努めることとする。計画期間は5年間(令和7年度～令和11年度)とし、状況に応じて修正を行う。



## ◆身延町の観光振興に向けた取組課題

### 【課題1】特徴的な地域資源を有効活用した体験・滞在型観光の推進

- 身延町には、身延山久遠寺や下部温泉、本栖湖、しだれ桜、西嶋和紙、あけぼの大豆、ゆば等、歴史・文化から自然・景観、伝統工芸、食に至るまで、魅力的な地域資源が多数存在する。
- 観光による地域経済の活性化が期待される中、観光消費額を高めるためには、地域における滞在時間を増やす必要があり、身延町ならではの特徴的な地域資源を活かした体験・滞在型観光の推進が求められる。

### 【課題2】地域ブランドの確立とプロモーションの強化

- 「心身の癒し」を感じることができる資源が豊富にあるという点は、身延町の特徴であり、それらを活かした地域ブランドの確立は、他地域との差別化につながると考えられる。
- 地域ブランドを定着させ、唯一無二の滞在価値を提供する地域として、全国的・世界的な認知度を獲得するため、ブランドコンセプトに立脚したプロモーションを強化することが求められる。

### 【課題3】安心・安全・快適に滞在できる環境の整備

- 観光客の満足度を高め、リピーターの創出による安定的な観光需要を獲得するためには、高付加価値な受入環境を整えることが不可欠である。今後も増加が見込まれるインバウンドに対しても、安心・安全・快適に滞在いただけるよう受入環境整備(情報案内、移動手段等)を着実に進める必要がある。

### 【課題4】地域が一体となった受入体制の構築・強化

- 観光振興を推進する上では、町民や観光関連団体・事業者、行政が連携し、地域一体となつて観光地づくりに取り組むことが不可欠である。
- 峡南地域や富士北麓地域、中部横断自動車道沿線地域と連携し、周辺地域が一体となつた観光振興推進体制の構築により、さらなる滞在時間の延長や誘客力の向上を目指すことが望ましい。

### 【課題5】持続可能な観光の仕組みづくり

- 身延町の地域資源の本質的価値を守り、将来世代につないでいくためには、持続可能な観光の仕組みづくりが不可欠である。観光産業を取り巻く状況が変化していく中、「環境」・「経済」・「社会」のバランスを担保しつつ、時代の変化に柔軟に対応した観光地経営が必要である。

## ◆観光振興の理念と将来像

### 【観光振興の理念】

こころ からだ さと  
**精神を高め、身体を癒す、安らぎの郷「身延」**  
～古き良き地域特性を守り、新しき時流を受け入れる、持続可能な観光地づくり～

- 身延山久遠寺を中心とする信仰の歴史・文化や、本栖湖をはじめとする豊かな自然・景観、西嶋和紙や印章等の伝統産業との触れ合いは、来訪者の『精神を高め』、下部温泉やあけぼの大豆・ゆば等の身体に優しい食資源は『身体を癒す』、明日への活力を与えるものである。「「身」体(命)を「延」ばす」という町名にふさわしい、心身ともに安らぎを与える観光地を目指す。
- 古くから大切に守られてきた歴史・文化、自然・景観、伝統産業を有効活用しつつ、将来世代へ継承するとともに、新たな地域振興の取組を柔軟に受け入れることで、身延町の個性を活かしつつ、時代に適応した観光地を目指す。
- 高付加価値な受入環境を整え、観光客の満足度を高めることで、滞在時間の延長や繰り返しの来訪を促し、消費額の拡大や安定的な誘客を図り、地域の受入負荷が小さい持続可能な観光地を目指す。世界に誇る観光地を形成することで、住民の地域への愛着醸成にも寄与する。

### 【観光振興の将来像】

- 身延町が誇る特徴的な地域資源を有効活用し、身延町ならではの体験・滞在型観光を提供している。
- 「安らぎの聖地＝身延」という認知が広く定着し、「心身の安らぎ」を求め、世界中から観光客が繰り返し訪れている。
- 町民や観光関連団体・事業者、行政等が連携し、多様な特色を有するエリア間が相互に誘客促進を図ることと、地域一体となつた周遊・滞在型観光地を形成している。
- 観光客の満足度を高めるための高付加価値な環境がソフト面・ハード面で整えられているとともに、適切な受入管理により地域資源の保全が担保され、持続可能な観光地の仕組みが整えられている。地域振興に向けた新たな取組を後押しする風土が根付き、常に時代に適応した観光地経営がなされている。
- これらの取組により、町民が誇りや豊かさを実感できる観光まちづくりが実現されている。



# 身延町観光振興ビジョン 概要版(2/2)



## ◆基本方針及び観光振興の取組の方向性

基本方針	観光振興の取組の方向性	具体的な取組内容	役割分担		スケジュール						
			民間	行政	R7	R8	R9	R10	R11		
1. 地域資源を有効活用した身延町ならではの体験・滞在型観光の推進	① 地域資源を活用した体験プログラムの充実	・歴史・文化資源を活用した体験プログラムの充実	●								
		・自然・景観を活用した体験プログラムの充実	●								
		・伝統産業に触れる体験プログラムの充実	●								
		・食資源に着目した体験プログラムの充実	●								
		・町民等との出会いに着目した体験プログラムの充実	●								
	② 滞在を促す仕掛けづくり	・朝と夜に楽しめるコンテンツの充実	●								
		・下部温泉における湯治の推進	●								
		・心身に癒しを与えるウェルネスツーリズムの推進	●								
		・主要観光エリア間の体験プログラムをつなぐ周遊モデルルートの提案	●								
2. 身延町の魅力・価値を定着させるためのブランドづくり・情報発信の強化	① 「心身の癒しを与える町」としての地域ブランドの確立	・「心身の癒しを与える町」を表現するキャッチコピーやロゴマーク等の設定	●								
		・キャッチコピーやロゴマーク等の使用促進	●	●							
	② 旅マエ・旅ナカ・旅アトにおける情報提供の充実	・多様な媒体による継続的な情報発信	●	●							
		・案内看板の定期的な点検及び改善	●	●							
		・各観光施設における相互案内の強化	●	●							
	③ 多言語情報発信の強化	・情報発信媒体の多言語化	●	●							
		・案内看板や音声アナウンス等の多言語化	●	●							
	3. 高付加価値な滞在環境の充実	① 宿泊施設の多様化・高質化	・既存宿泊施設の高付加価値化	●							
			・空き家等を活用した宿泊施設の整備	●							
・アウトドア施設の整備推進			●								
② 飲食機能の強化		・飲食施設の充実	●								
		・特産品を活用した食メニューの開発促進	●								
③ 二次交通の改善		・町内を周遊するバス・タクシーの充実	●								
		・町内の道路・歩道・駐車場等の定期的な点検及び改善		●							
④ 地域として一体感のある街並み・景観の維持		・身延山門内、下部温泉、しょうにん通り等の街並み・景観の維持	●	●							
		・「身延町景観計画」に基づく街並み・景観の保全ルールの周知・遵守	●	●							
⑤ インバウンド受入環境の充実		・Wi-Fi 環境の整備	●								
	・キャッシュレス決済の導入促進	●									
4. 地域が一体となった観光地づくりの推進体制の構築・強化	① 町民、観光関連団体・事業者、行政の観光意識の醸成	・本ビジョンの周知	●	●							
		・町民向け観光体験プログラムの提供	●								
	② 町内の観光関連団体・事業者の相互連携体制の強化	・身延町観光協議会をはじめとした各エリアのネットワーク強化	●								
	③ 観光人材の確保・育成	・観光人材の育成	●	●							
		・若者や外国人の就業支援、移住定住関連施策との連携		●							
	④ 広域連携の推進	・峡南地域との連携強化	●	●							
		・富士北麓地域との連携強化	●	●							
・中部横断自動車道沿線地域との連携強化		●	●								
5. 将来にわたり持続可能な観光地の形成	① 観光需要の通年化・平準化	・冬季の観光需要を創出するコンテンツの充実	●								
		・季節や曜日による価格変動制導入の促進	●								
	② 地域へのロイヤリティを高める仕組みづくり	・身延町ファンクラブの設立	●	●							
		・顧客情報の共有によるマーケティングの高度化	●								
		・リピーター向けサービスの提供	●								
	③ 地域資源の保全を担保する仕組みづくり	・地域資源の保全ルールの検討	●	●							
		・持続可能性に関する国際認証取得の検討	●	●							
	④ 観光振興に資する新たな取組に対する支援	・観光事業への新規参入に対する支援		●							
・地域における先進的取組に対する支援			●								
⑤ ニューツーリズムの推進	・ニューツーリズムイベント等に取組む団体との連携強化	●	●								